

誰もが暮らしやすい社会へ

～発達障がいについて考えてみよう～

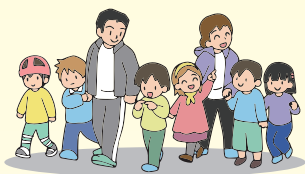
令和5年

とき **10月14日** 土

開場 **12:30** 開演 **13:00～16:50**

ところ **ウィステリアホール**

札幌市中央区南1条西14丁目ウィステリア南1条ビル地下
※地下鉄東西線「西18丁目」駅5番出口より徒歩5分
札幌市電「西15丁目」停より徒歩1分



北海道社会福祉
フォーラム
2023

● **参加無料**

事前のお申込みが必要

会場及びオンラインで開催します

(会場 100名、オンライン 300名)

☆「会場」ご来場の方にはプレゼントがあります!



※必要により手話通訳をご用意します

座長兼 パネルディスカッション
コーディネーター

中村 秀一 氏

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院 教授



第一部 基調講演

13:15～14:30

基調講演 I (45分) 「発達障害のある子どもたちの可能性・社会の課題～多様性の時代に向けて～」

発達障害の子どもが増えていると言われてるのはなぜか、社会の側にある問題を通して考えます。発達特性のある子どもたちの魅力と可能性について共有したいと思います。

講師 野澤 和弘 氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表/
植草学園大学副学長 (教授)



基調講演 II (30分) 「発達障害の子どもたちと共に～幼児期から成人期までのサポートを通して～」

むぎのこでは、発達障害のある子どもを幼児期から、大人になるまでサポートしてきました。彼らは、誰もが安心できる新しい時代の実を結ばせてくれる存在である事を感じています。

講師 北川 聡子 氏

社会福祉法人妻の子会理事長・総合施設長/
公益財団法人日本知的障害者福祉協会副会長・
児童発達支援部会長



第二部 パネルディスカッション

14:45～16:45

- 各パネリストから担当分野の概況等発言 (パネリスト発言各 10分程度)
- 全体討論
- 総括

パネリスト

津曲 共和 氏

(現) 国土交通省 安心居住推進課長
(前) 厚生労働省 障害福祉課長



パネリスト

山瀬 正己 氏

北海道自閉症協会 監査



パネリスト

菊地 寛大 氏

社会福祉法人妻の子会



パネリスト

加藤 潔 氏

社会福祉法人はるにれの里
自閉症者地域生活支援センター
なないろ 所長



アドバイザー 野澤 和弘 氏

アドバイザー 北川 聡子 氏

主催 / 北海道社会福祉フォーラム 2023 実行委員会 (社会福祉法人ノマド福祉会・社会福祉法人はるにれの里・社会福祉法人浦河べてるの家・社会福祉法人妻の子会)

共催 / 株式会社メディカルシステムネットワーク

後援 / 北海道厚生局、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道市長会、北海道町村会、北海道社会福祉協議会、北海道民生委員児童委員連盟、札幌市社会福祉協議会、札幌市民生委員児童委員協議会、北海道新聞社、藤女子大学 QOL 研究所

講師・座長・パネリストご紹介

講師 兼 アドバイザー

野澤 和弘 氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表
植草学園大学副学長(教授)

【主な活動経歴】

1983年、毎日新聞社に入社し、社会部でいじめ、ひきこもり、児童虐待、障害者虐待などの報道に取り組む。

夕刊編集部長、論説委員などを歴任し、現在は、知的障害のある人などへのわかりやすい情報提供やコミュニケーション支援を行う(一社)スローコミュニケーション代表として、日本語の研究と普及に努めているほか、植草学園大学副学長(教授)として、インクルーシブ教育を推進している。

社会保障審議会障害者部会委員、社会福祉法人千楽副理事長としても活動中。

主な著書に、「スローコミュニケーション」、「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)などがある。

講師 兼 アドバイザー

北川 聡子 氏

社会福祉法人麦の子会理事長・総合施設長
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 副会長
児童発達支援部長

【主な活動経歴】

1983年、障がいのある子どもたちが毎日通える場として「麦の子学園」を開設。

現在、社会福祉法人麦の子会理事長兼総合施設長として、乳幼児期から成人期までの「発達支援」「相談支援」「家族支援」「地域支援」の4つを柱に、個別的なニーズに応じた専門的な支援を行っている。

こども家庭庁こども家庭審議会「障害児支援部会」「社会的養育・家庭支援部会」委員など多くの要職で活動中。2022年に、優れた教育実践者を顕彰するペスタロッcher教育賞(広島大学)を受賞した。

主な著書に、「子育ての村ができた!—発達支援、家族支援、共に生きるために—」(福村出版)などがある。

座長 中村 秀一 氏

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院 教授

【主な経歴】

1973年 厚生省入省(社会局老人福祉課)

1981~1984年

在スウェーデン日本国大使館勤務

2002年 厚生労働省老健局長

2005年 厚生労働省社会・援護局長

2008年 社会保険診療報酬支払基金理事長

2010~2014年 内閣官房社会保障改革担当室長

2012年~現在

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長

国際医療福祉大学大学院教授

2013年~現在

同大学院国際医療福祉総合研究所所長

パネリスト

津曲 共和 氏

(現)国土交通省 安心居住推進課長
(前)厚生労働省 障害福祉課長

【主な活動経歴】

1998年、厚生労働省に入省後、障害児・発達障害者支援室長などを歴任、在フランス日本国大使館、兵庫県庁などに出向。

発達障害者支援法改正(2016年)に向けた議員連盟における検討、強度行動障害を有する者の地域支援に関する検討会(2022年度)や2022年障害者総合支援法改正などを担当。

パネリスト

山瀬 正己 氏

北海道自閉症協会 監査

【主な活動経歴】

2005年から北海道自閉症協会事務局長、2008年からは副会長として協会の運営・活動を担い、2023年からは監査に就任。

ご自身にも自閉症のお子さんがあり、北海道における自閉症児・者及びその家族・支援者のために、自閉症に関する正しい知識の普及や理解の促進、啓発を行っている。

パネリスト

菊地 寛大 氏

社会福祉法人麦の子会

【主な活動経歴】

発達に遅れがあり、2歳3カ月の時に児童発達支援センターに入園。

卒園後は、地域の小学校へ入学し、幼児期と一緒に育った仲間たちとともに、保育専門学校に入学・卒業。

社会福祉法人麦の子会に入職後、保育士として療育に携わりながら、夢だったバス運転手の免許を取得し、子どもたちの送迎も行っている。

パネリスト

加藤 潔 氏

社会福祉法人はるにれの里
自閉症者地域生活支援センター
なないろ 所長

【主な活動経歴】

1986年から小学校、養護学校教員として勤めた後、2005年から社会福祉法人に入職し、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる、札幌市自閉症者自立支援センターゆいの所長等を歴任。

長年、発達障がい児・者の地域での暮らしを支えてきている。日本自閉症スペクトラム学会理事、自閉症援助技術研究会会長としても活動中。

お申込み方法

お申込み締切日

令和5年10月6日(金)



・上記のQRコードをスマホやタブレットのカメラで読み取ってお申込みください。

・下記のURLからもお申込みができます。

<https://hokkaido-forum.com>

【開催・ご来場に関して】

感染症等の急拡大や諸事情により、開催内容の変更、中止とする場合がございます。あらかじめご了承ください。専用駐車場はありませんので、ご来場の際は公共交通機関でご来場をお願いいたします。

フォーラム事務局

株式会社 メディカルシステムネットワーク

〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル3F

●電話によるお問い合わせ・受付時間 / 平日 8:30~16:00

●担当/片倉、赤塚、坂本

電話:011-558-7061

メール:forum@msnw.co.jp

個人情報の取り扱いについて

お申込みの際ご入力いただいた個人情報は、当該フォーラムに関すること(今後の開催案内を含む)に限り、使用させていただきます。